

大崎市新型コロナワクチンの追加（3回目）接種体制について

1. 接種対象者

- 初回（1回目・2回目）接種を受けた日から、原則8か月以上経過した人
- 医療従事者は6か月、高齢者は7カ月に前倒しして接種する
- 追加（3回目）接種時点で18歳以上の人
- 対象者数 令和4年4月末までに初回接種から8か月経過 56,300人

2. 追加接種用予診票の発送

追加接種では、初回接種の際に送付した「クーポン券」に変わり、「追加接種用予診票」を送付します。

接種が可能となる日の3週間前を目安に、市内に住民登録があり、かつ、大崎市内で初回接種を受けた人に、追加接種用予診票のほか、初回接種の記録を記載した「新型コロナウイルスワクチン接種済証」、集団接種日程表や個別接種医療機関一覧を同封し郵送します。

予診票送付日程	2回目接種完了日	3回目接種可能日	予診票発送日
例	令和3年6月30日	令和4年2月14日	令和4年1月17日
	令和3年7月1日	※2/14から開始のため	

※接種可能日は、高齢者は2回目接種から7か月後としています。

次に該当する人は、追加接種用予診票の発行申請の手続きが必要となります。

- 他市町村で初回接種を受けた後、大崎市に転入した人
- 海外で2回接種を受けた人
- 追加接種用予診票が届いた後に紛失してしまった人

3. ワクチンの供給予定

在庫数及び3月までのワクチン供給見込（全てファイザー）

クール等	箱数	回数	供給日
在庫	1箱	1,170	配布済
第1, 2クール	10箱	11,700	配布済
第3クール	20箱	23,400	2/21, 28
計		36,270	

4月以降の接種についてはファイザー及びモデルナの供給が予定されている（数量・配分方法は未定）

4. ワクチンの交接種について

国の配分計画ではモデルナの供給量が増えるため、各市町村において交接種の実施が見込まれましたが、宮城県ではモデルナの使用を県の大規模接種会場に集約し、市町村には当面ファイザーを供給するため、本市においては3月までは全ての接種会場、初回と同じファイザーを使用することとなります。

ただし、宮城県の大規模接種会場や本市の4月以降は交接種となる可能性があります。

5. 接種の日程等

■個別接種（各医療機関）

実施医療機関数	1週間の接種回数	4月末までの接種見込
49	4,422回	26,500回

個別接種は3月までは全てファイザー社製ワクチンを使用する
別紙1「接種医療機関一覧（一般）」のとおり

※一般（高齢者）の接種は2月14日（月）から行う。（医療従事者は1月末接種完了予定）

■集団接種（体育館、保健センター、大崎市民病院）

3月までの集団接種は、全てファイザー社製ワクチンを使用する
4月以降はモデルナ社製ワクチンを使用する可能性がある

・期間 3月1日（火）～4月27日（水）

※5月以降の日程は、ワクチン供給量を確認しながら決定

実施回数	延べ接種数
32回	12,480回

※別紙2「追加（3回目）接種 集団接種日程表」のとおり

月～金は、結核予防会へ委託（360人/回）

土・日は、市民病院で実施（600人/回）

6. 5歳から11歳のワクチン接種

5歳から11歳までを対象とする小児の初回接種については、国よりワクチンは2月から輸入されるため、接種開始は3月になる見込みとなる旨説明があったことから、計画を一部変更して接種体制の構築に取り組んでいます。

通常の前副反応対応に加え、入院が必要となった場合でも適切な医療対応を取れるよう、大崎市民病院での集団接種の実施を調整しています。